



地産業者の育成



大友 健

問 「広報いわぬま」を地元が落札できたのは喜ばしいこと。地元でできるものは地元にと、誘導する手があるのではないかと。

市長 以前はそうしていません。税金の有効活用と同時に、納めている人の立場も踏まえ、バランスを取っています。

高くても地元発注を

問 地元を下ろすと、はっきりとした姿勢を示してもいいのではないかと。

市長 価格的問題のない分野は、できるだけ地元にはと思います。

問 少し高くてもいいから地元発注にこだわるとか、市民に説明すれば、理解は得られると思うがどうか。

市長 重要だと思えますので、検証しながらやることは、やっていきます。市内の業者にも力がついてきた面もあります。

問 (教育委員会が) 買う予定の約200台のテレビを、分割(発注)するなどして地元の業者が取れるようにできないか。

市長 ルールの範囲内で「できることは当然、地元」に考えています。地元に対する配慮は当然やっていかなければなりません。

自治基本条例の制定



布田 一民

問 自治体の組織運営、そして活動に関して基本的な事項を定めた、自治基本条例を頂点にして条例や規則を体系的、総合的に編成し直すためにも、必要な条例ではないか。

市長 市民の皆さまの十分な参画がなければ実のあるものにはならないと思いますし、条例化できないと思います。その辺りを考えながら必要とあればぜひ、そういう方向で進めていきたいと思っています。

条例策定の考えは？

問 総合計画を進めている中で、自治基本条例を策定し、政策執行と制度執行を市民・議会・行政が一つになって、しっかりと運営をするシステムづくりが必要ではないか。

市長 今日の状況から見ると、制度とか仕組みとして、しっかりと構築していく、そういう意味では、条例を策定することは、相当重いものだと思います。

問 条例の中で、みんなが岩沼市をどのようにしていくのか定め、そして運営をしていく。議会だけが強くなるとは駄目だし、市民だけが強くなっても駄目。当然行政も強くなるとは駄目だ。みんながやるために自治基本条例をつくるべきではないか。

市長 議員からいろいろとご意見を頂きました。重く受け止めて対応したいと思っています。

朝日山公園改修事業



長田 雅裕

問 堤護岸整備の進捗状況を伺う。

市長 堤の護岸と水質の保全を目的に、平成16年度から実施し20年度までに全体の82%が完成しています。今年度も計画をしており、21年度末までには全体の9割ほどの事業が進捗されるものと考えます。

進み具合はいつまで

問 井戸新設の進捗状況を伺う。

市長 朝日山公園の改修整備については、職員のプロジェクトで検討しました。現在は公園の将来にわたる整備構想について、市民や学識経験者、朝日山公園を利用されている方々等に入っていたり、朝日山公園整備構想検討委員会を設けて、検討をしています。井戸の新設についても、せせらぎ水路改修と関連がありますので、検討委員会の中